



やる気を尊重されながら
できることに取り組む



ようやく涼しい日が続くようになってきましたね。日中はまだまだ暑いですが心地よい風が吹くようになり、子どもたちも過ごしやすいようです。涼しくなると水分を摂る量が減ってくることもあるため、意識してこまめに水分補給していきます。

前月は靴を履いて一人で歩いたり、保育士と手を繋いで歩いたり、活動範囲がどんどん広がったひと月でした。きっと「あっちに行こう」「あそこに行きたいな」と心の中で考えながら、自分で行動を決めているのですね。今までは抱っこされたりシートの上に座ったりと、保育士が決めた範囲の中で楽しむことが中心でした。今では自分の興味の赴くまま自由に遊ぶことができ、より楽しみが広がったように思います。引き続き危険のないよう見守りながら、子どもたちが思いきり探索を楽しめるよう配慮していきたいと考えます。

お散歩以外の場面でも、「やりたい!」と思う気持ちや「こうしてほしい」という欲求も強まっているようです。お友達の真似をして靴下を脱ごうとしたり、ご飯をすくってほしいとスプーンを保育士に差し出したり。そしてうまくできなかつたり伝わらなかつたりすると、泣いて怒りを表していました。気持ちをうまく汲み取れず申し訳なく思う一方で、自我の育ちを感じて嬉しくも思います。やってはいけないことはきちんと教えつつ、子どもたちの気持ちに寄り添いながら、できる限りやりたいことをやり遂げられるよう手伝いたいと思います。

